

「国・県の取り組み状況等について～第3次おかやまウイズプランを中心に～」

岡山県県民生活部男女共同参画青少年課 課長 岡野千鶴さん  
主任 加納恭子さん



平成23年6月5日  
さんかく岡山 会議室

まず、これまでの男女共同参画の流れと昨年12月に策定された国の「第3次基本計画」の概要説明があり、この基本計画において改めて強調している5つの視点のうち、「様々な困難な状況におかれている人々への支援」と「女性に対するあらゆる暴力の根絶」の2つがDV施策に関するものだという事でした。

4月にスタートした「第3次おかやまウイズプラン」は「男女が共に輝くおかやまづくり」を目標とし、①「男女の人権の尊重とパートナーシップの確立」 ②「社会的・文化的に形成された性別」(ジェンダー)に気づく視点 ③「女性のエンパワーメントの促進とチャレンジ支援」 ④「さまざまな主体との協働の推進」の4つの基本的な視点を中心に、5つの基本目標、18の重点目標、さらに34の数値目標が設定されています。基本的な視点には、「さまざまな主体との協働の推進」が新たに加えられており、民間と共に取り組むDV防止施策などが含まれています。重点目標では、より一層の充実を目指すものとして「男女間のあらゆる暴力の根絶」が挙げられています。これまでのプランの「女性に対するあらゆる暴力」という表現を「男女間のあらゆる暴力」とすることで、「男女の人権が尊重される社会の構築」を目指しています。DV施策としては、新たに「男性相談窓口の設置の検討」などがあり、若年層への予防啓発として、高校・大学等でのデートDV防止のための啓発講座の開催や広報などの充実も推進していくこととされています。また、「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現」が新たに重点目標に加わりました。少子・高齢化の進展や労働人口の減少といった社会情勢の変化の中で、仕事、家庭、地域活動、趣味、自己啓発などをバランスよく充実させた生活が重要になっています。まずプランでは、「家庭も仕事も充実する」という考えをもとに、「ワーク・ライフ・バランス」について、県民や企業トップの意識改革など社会的気運の醸成にも取り組む予定です。

最後に「地域活性化交付金」についての説明がありました。国の平成22年度補正予算の「地域活性化交付金」のうち1000億円が「住民生活に光をそそぐ交付金」として計上され、その使途内容の対象分野に、「DV対策・自殺予防等の弱者対策、自立支援」があります。「DV対策」と明記されている点が注目です。県としては交付金を活用してDV防止に関し、民間シェルターの整備、DV被害者の子どもサポート、ステップハウスなどのモデル事業等を進めます。

これまでの1次・2次のプランを踏まえた上で、更に充実した取組を目指して作られた「第3次おかやまウイズプラン」、私たちが新たに加えられた重点目標や数値目標が実現するために、支援・協力を惜しまず、真の男女共同参画社会を目指していきたいと思いを新たにいたしました。

(文責 若井たつ子)